

施設長 各位

那覇市医師会

会 長 山城千秋
担当理事 宮城政剛



「新型コロナウイルス感染症」関連資料の提供について

平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。

那覇市保健所・仲宗根所長より「沖縄県疫学・統計解析委員会」からの報告事項をご提供いただきましたので下段にてご報告致します。

☆ 問合せ先(那覇市医師会 事務局:上地・上原 / 電話 098-868-7579)

-記.....
- ◎ 沖縄県疫学・統計解析委員会から【現状】と【推定】と【解説】をいただきましたので、ご報告致します。(取扱注意でお願いいたします。) 【那覇市保健所 所長 仲宗根 正】

【現状】

沖縄県では、先週(3/15-21)の新規陽性者数は261人(前週178人)であり、新たな流行に入ったものと考えられます。沖縄本島における実効再生産数(R)は1.38(95%CrI:1.21, 1.56)と急速な増加のなかにあります(図1)。

世代別では、20代が85人(33%)と最多でした。男性の感染者が若干多く、これは第2波、第3波とは異なる傾向です。歓楽街での集団感染が少ないことが影響しているかもしれません。30代は53人(20%)であり、20代と30代で全体の半数を占めます。

現在、若者中心に感染が拡がっており、流行初期に特徴的な状況です。過去の経験を踏まえると、徐々に中高年へと感染が拡大します。ただ、Rが1を超えてから4週が経過しましたが、高齢者の報告が増えていません。これは過去には見られなかった現象で、とくに会食や家庭内での高齢者が感染した事例が少なく、生活のなかで予防が徹底できている可能性があります。

全年齢における感染経路別では、会食が73人(28%)と最多であり、家族・親族55人(21%)と順位が逆転しました。緊急事態宣言が解除されたのちに、会食機会が増えてきている様子が伺えます。続いて、職場19人(7%)、病院・社会福祉施設15人(6%)となっています。なお、ゴルフ6人(会食と重複あり)となっており、中高年男性の感染機会となっています。会食は避けていただき、プレーだけを楽しんでいただくのが良いと思われます。

地域別では、北部2人(前週1人)、中部92人(前週70人)、南部61人(前週51人)、那覇市88人(前週47人)、宮古2人(前週0人)、八重山10人(前週3人)でした。とくに那覇市内で急速に感染者数が増加しています。離島での流行も始まった可能性があります。

県民の県外への渡航1人、県外からの渡航3人と計4人(2%)の渡航後の陽性者を認めました。首都圏に出されていた緊急事態宣言が解除されたこともあり、今後、渡航関連の感染者が増えるものと予測されます。

現状では若者中心の流行のため、宿泊療養施設が過密になっています。離島も含めて施設の増強を検討しなければなりません。入院患者数も増加してきています。3月14日時点の入院患者数120人(前週末104人)、このうち中等症以上の患者数71人(前週末57人)でした。また、気管挿管されている重症患者は2人(前週末2人)でした。

【推定】

中南部での流行がさらに進行し、離島へも拡大する見通しです。若者中心の流行から徐々に中高年に移行することが予測され、高齢者施設等における集団感染が重なることも考えられます。その場合には、地域における医療提供体制がひっ迫する可能性が高まります。

新規の陽性者数は、400-500人にまで増加するものと推定されます。とくに那覇市を含む南部地域で感染が拡大します。入院患者数は、今週末までに120-140人に増加し、気管挿管等が行われる重症患者数は3-4人と見込まれます（図5）。

【解説】

沖縄県が緊急事態宣言の終了を発表してから3週間が過ぎました。活動再開の影響もあって、現在、若者を中心として感染拡大しています。

沖縄には多くの渡航者が訪れていることから、ウイルスが持ち込まれる頻度は確実に高まるものと考えられます。本土では感染力を増したとされる変異株への置き換わりも認めているため、できるだけ県内への持ち込みを阻止していくことが必要です。

流行している地域からの帰省については、極力延期していただければと思います。高齢者のいる実家に宿泊すると、一人一人は大丈夫だと信じていても、総じて少なからぬ高齢者が感染することになります。そこに同級生との交流が重なれば、地域全体への流行に発展する可能性もあります。

それでも帰省しなければならない事情がある学生さん、那覇空港では学割（3000円）でPCR検査が受けられます。実家の祖父母に会う前に検査を受けてから帰省してください。検査を受けるよう、お孫さんに伝えてください。

県内では、知人・友人との会食が主たる感染原因となっています。一緒に食事をするのは、同居する家族など固定された親しい人に留めてください。とくに、渡航者との会食は控えていただければと思います。

感染された方からは、「4人以下の会食であれば大丈夫だと思った」との言葉を聞くことがあります。何人であっても会食の場に感染者がいれば感染します。また、4人以下でも週に何度も繰り返していれば、感染リスクは高まります。

一方、ショッピング、公共施設の利用などの外出については、一般的な感染対策を心掛けていただければ制限する必要はありません。ただし、人が集まる場所に入るときは、マスクを着用してください。公共のモノに触れたときは、手を洗うか消毒してください。

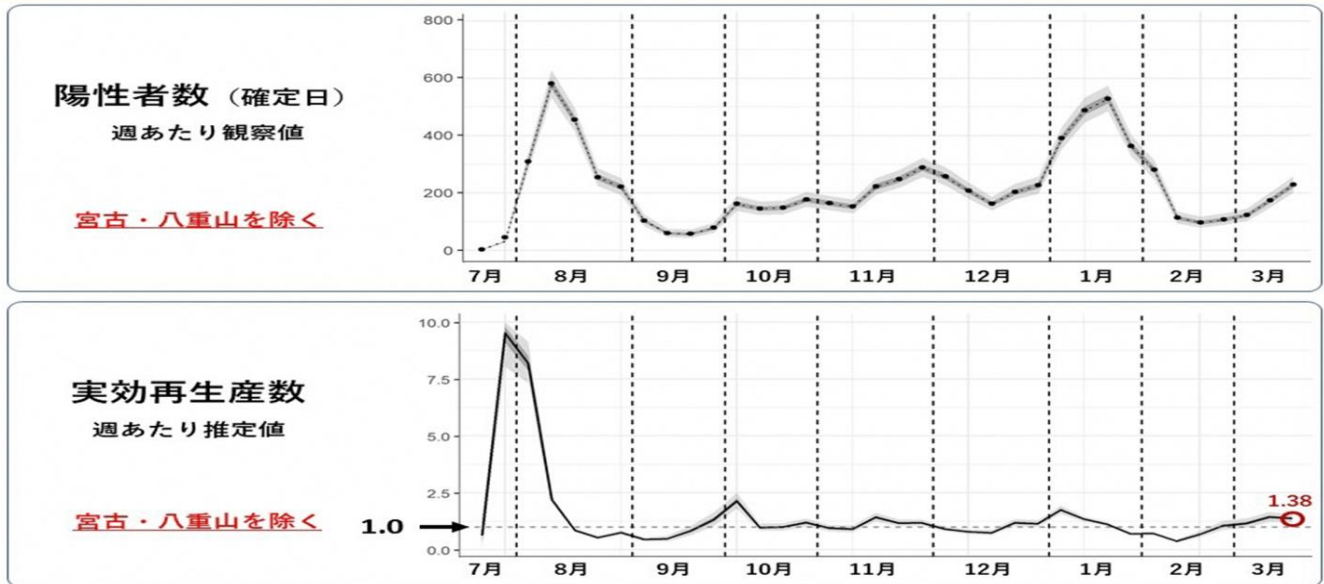
公園を散歩することは、心身の健康を維持するために必要な外出です。感染リスクが高いとも考えられませんので、とくに高齢者の方など屋内に引きこもることなく、体を動かすようにしていただければと思います。

発熱や咳などの症状を認めるときは、外出を自粛してください。症状が軽快したあとも、少なくとも5日間は感染予防を心掛けていただく必要があります。とくに会食には参加しないこと。そして、高齢者のいる世帯を訪問しないようにしてください。

最後に、高齢者や持病のある方は、コロナの予防だけでなく、医師の指導を守って生活習慣病の合併症予防を心掛けてください。イベントの多い時期かと思いますが、お酒の飲みすぎには注意してください。コロナが流行していることもあり、この機会にタバコを止めておくことをお勧めします。

以上です。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数の推定



新規陽性者数および重症度別入院患者数の推移



図5 今後1週間（3月22日-28日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
年齢群別重症化率； 厚生労働省
平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）			入院患者数 ※1			重症患者数 ※2		
	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
北部	1.0	2.0	4.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0
中部	41.2	83.0	167.1	27.4	29.6	36.7	0.3	0.5	0.7
那覇市	43.7	88.0	177.2	33.5	38.9	49.5	2.0	2.1	2.5
南部	30.3	61.0	122.8	43.0	43.0	43.0	0.3	0.4	0.6
宮古	0.5	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
八重山	5.5	11.0	22.2	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0
合計	122	246	495	114	122	139	3	3	4

※1 今後1週間における入院患者数について、最大となる日の患者数
※2 今後1週間における重症患者数について、最大となる日の患者数

解析担当：沖縄県疫学・統計解析委員会